

Collection →



next mission →

地球の教育を調査せよ!!

夕刊きょういく

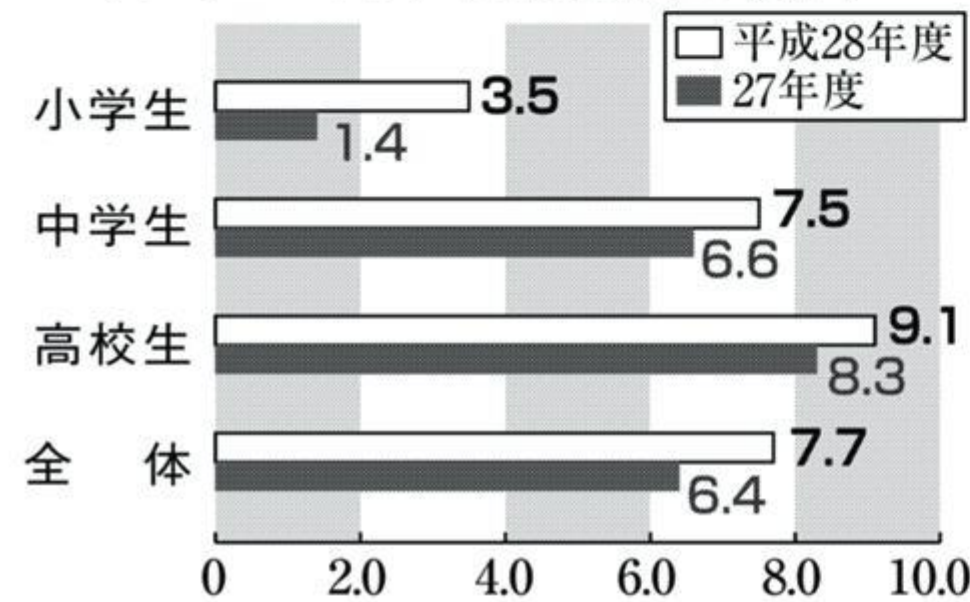
数字でみてみよう

インターネット安全に利用していますか?

(数字は%)

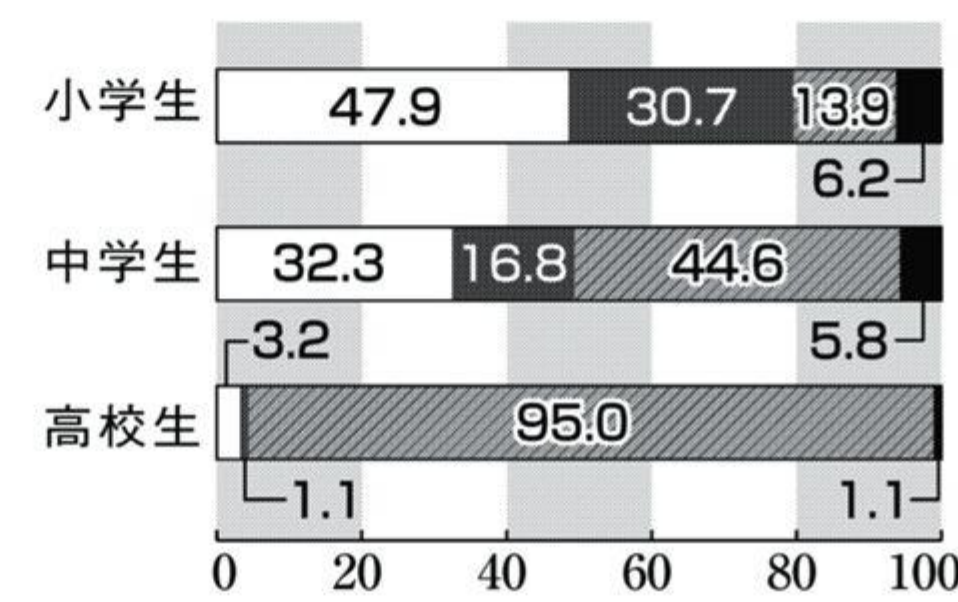
子供のネット依存度は...

◎インターネット依存傾向の割合



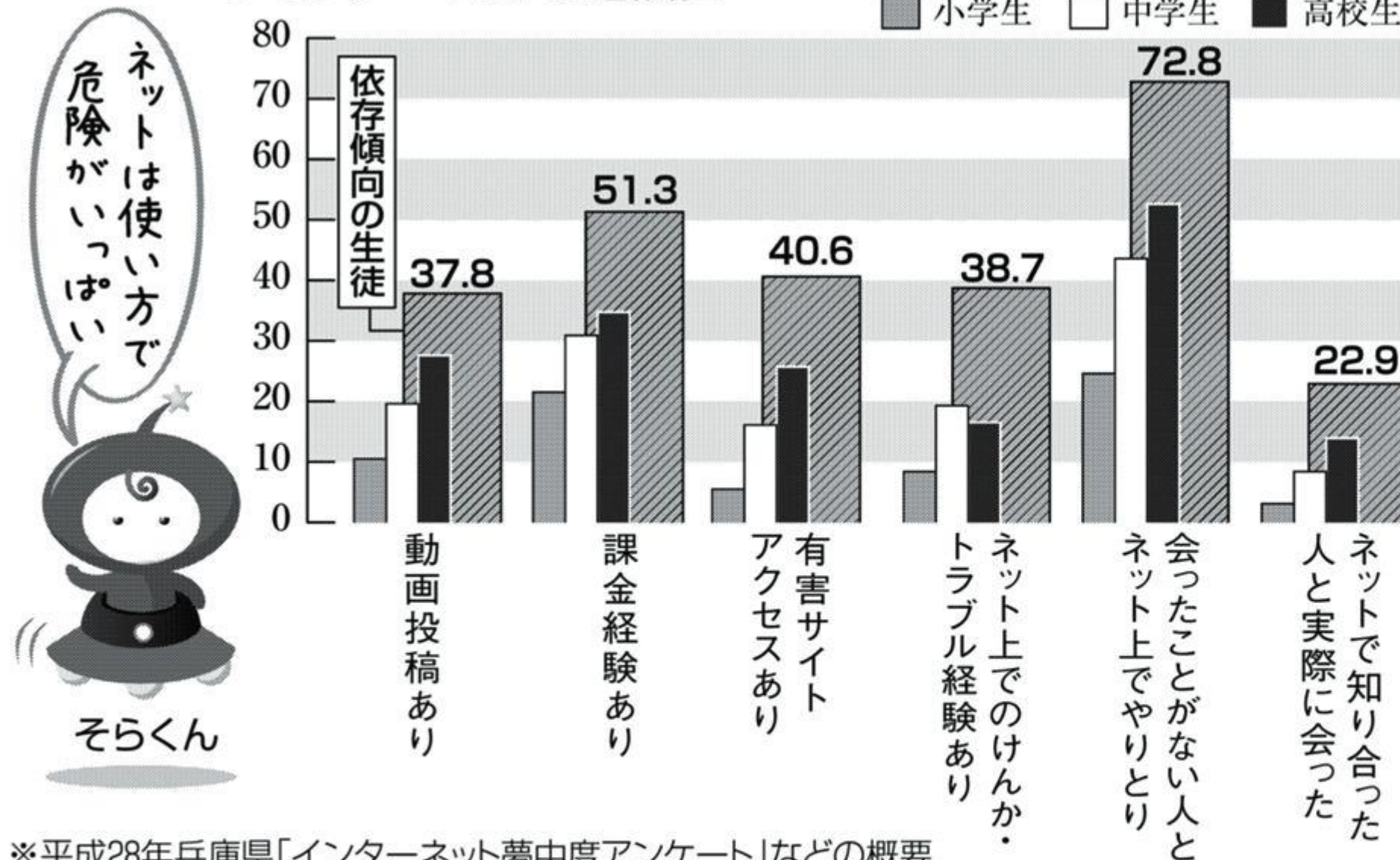
◎携帯電話の所有状況

□ なし ■ ガラケー ▨ スマホ ■ 両方



◎インターネットの危険性

■ 小学生 □ 中学生 ■ 高校生



ネットは使い方で危険がいっぱい

そらくん

ルールを守って楽しみましょう

ほしちゃん

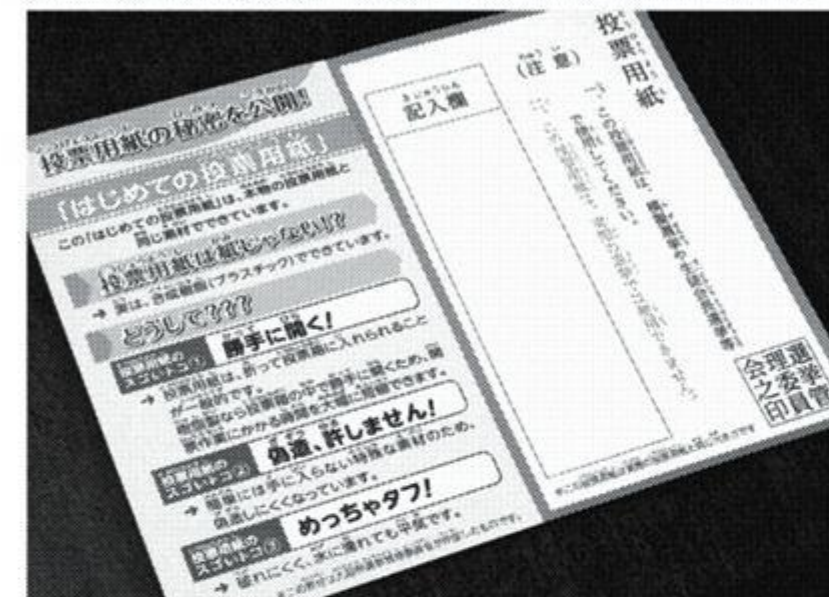
※平成28年兵庫県「インターネット夢中度アンケート」などの概要

高校生にはじめての投票用紙

選挙権年齢が18歳以上に引き下げられたことを受け、大阪府選挙管理委員会は高校生向けの補助教材「はじめての投票用紙」を作成した。本物の投票用紙と同じ素材で、折っても自然に開く特性を体感できる。府選管は授業だけでなく生徒会選挙や模擬選挙で広く活用してほしいと呼びかけている。

(吉田智香)

補助教材は特殊なプラスチック製で、大きさは縦12・8センチ、横16センチ。府内の公私立の高校や支援学校などの3年生全員に渡り、約330校に配布した。



④大阪府立能勢高で行われた府選挙管理委員会による出前授業
⑤大阪府選管が作成した補助教材「はじめての投票用紙」

大阪府選管が補助教材

表面は本物を模した投票用紙になっており、勝手に開く、偽造しにくい、破れにくいといった投票用紙の特徴が書かれている。中央のミシン目で切り離せば、学校で生徒会選挙や模擬選挙の投票にも使える。

裏面には日本の選挙権拡大の歴史や、「衆議院選挙を行うための国の予算は」「イン

ターネットを使った選挙運動で、候補者・政党等以外がやるといけないこと」などの選挙に関するクイズを掲載した。

4月17日には、任期満了に伴う町議選の告示を控えた府立能勢高(大阪府能勢町)で補助教材を使った出前授業があった。

授業には、3年生約50人が

参加した。講師の府選管職員が「以前は時間や労力をかけて投票用紙を開けていたが、作業量を削減できるようにした」と説明。生徒らは事前に配布された補助教材を折り曲げて、自然に開く様子に驚いていた。

職員は若者の投票率が低い現状にも触れ、若い人の声が政治に届きにくくなる恐れがあると指摘。「投票率を上げて存在感を高め、政治家から若者向けの政策を引き出すことが重要だ」と語りかけた。

選挙権年齢が引き下げられ、初の国政選挙となった昨夏の参院選では、新たに有権者となった府内の18〜19歳の投票率は46・80%。有権者全体の投票率は5割余り下回った。授業を受けた佐藤広樹さん(17)は「若者の意見を反映するためにも、選挙に行かなければ」と話した。

府選管は「補助教材を通して、政治や選挙を身近に感じてもらいたい」と期待し、今後も要望に応じて出前授業を開く予定。また、小中学生を対象に「私たちのくらしと選挙」と題したパンフレットも作成し、府内の小中学校に配布している。